

今シーズンの我々(TITANS)の目標は、練習で精一杯にハードなプレーをし、スチューデントアスリート(文武両道を高いレベルで実現できる学校を代表する選手)を育てる事、そして、バスケットボールを通じてチームとして成長する事です。

積極的、かつ、激しいマンツーマンディフェンスを志向しており、そして、堅実なハーフコートバスケットボールを目指しています。昨シーズン、関東リーグでは準優勝、香港国際トーナメントでは3位、沖縄で開催された Far East Tournament でも3位の戦績を残しました。

近年の卒業生では、日本の大学、欧州の大学、そしてアメリカの大学でプレーをする卒業生を輩出しています。また、St.Mary's Varsity チームの主将である Avi Schafer 選手は U-18 トップエンデバー合宿に選出されました。

日本の高等学校とは、国学院久我山高校、日比谷高校、横浜高校、東京農業大学第一高校、立教高校、自由が丘高校、聖光学院、日本体育大学の下級生チームとの対戦経験があります。

是非、これからも、多くの日本の高等学校の部活動チームと対戦したいと思っています。是非、St.Mary's にお越しください。また、我々がそちらの高校へ伺う事も可能です。どうぞ、お声掛け下さい。

非常にタフで、スポーツマンシップに溢れ、楽しい試合をお見せする事を約束します！

St.Mary's goal for this year is to work as hard as we can in practice,to develop as young men and student athletes and to improve as a team while learning the game of basketball.

We try to play aggressive,intense man to man defense and try to run a solid half court game.

Last year we finished 2nd in the Kanto Plains league,3rd in the Hong Kong tournament,3rd in the Far East Tournament

in Okinawa.Recent graduates have played on college teams in Japan,Europe,and the U.S.

Ken Hor 2011 Sofia University,Tokyo.

Conor Shimizu 2013 Essex University England.Development Squad.

Andrew Jones 2014 Currently playing at University of California Santa Cruz.

Avi Schafer St.Mary's Varsity Captain has been invited to practice with the Japan U18 team this month.

We have played,Kugayama High School,Sangenjaya High School,Hibiya High School,Yokohama High School King
Kongs,Tokyo Nodai High School,Sakuramachi High School ,Rikyu Gakoen ,Seiko Gakoen and Jiyugaoka High School.
We also play Nittaidai Freshmen and Sophomore teams.
We would LOVE to play many more Japanese teams.They are always welcome to St.Mary's or if they would like us to
travel we will visit.Please invite us/visit us and I promise we will give your team a tough,sporting and enjoyable game.

George Clarkson,St.Mary's Head Basketball Coach.

St. Mary's International School の活動内容について

■シーズン制(11 月から 2 月)で用意されている濃密なスケジュール

東京都世田谷区にあり、60 年近い歴史を持つ St. Mary's International School のバスケットボールチーム。日本の高体連に所属するチームとは異なる競技環境、そして日本では珍しいシーズン制でバスケットボールに励んでいる。

11 月の第 1 週から練習がスタートし、シーズンは 2 月に終わる。出場する大会は関東地区のインターナショナルスクールに加え、米軍基地の中にある学校である。ST Mary は、ASIJ Mustangs(東京都府中市)、CAJ Knights(東京都東久留米市)、Kinnick Red Devils(神奈川県横須賀市)、YokotaPanthers(東京都福生市)、Zama Trojans(神奈川県座間市)ら、6 チームとリーグ戦を行う

リーグ戦以外にも各種の交流戦に参加をし非常に充実したシーズンを過ごすのも特徴だ。Far East Champion、Hong Kong Holiday Tournament、SAVA CUP などを通じて心身の向上を図る。

Far East Champion 前述の関東地区リーグに加え、沖縄県から Kubasaki High School と Kadena High school が加わり、ソウルアメリカンスクールで行われる。近年は不参加になっているが、数年前まではグアムとフィリピンのアメリカンスクールも参加していた大規模な大会である。

また、Hong Kong Holiday Tournament あは文字通り香港で開催される大会であり、Hong Kong International School によって 46 年間に渡って主催されている歴史のある大会だ。全 3 日間にわたって開催され、St Mary's, Hong Kong International, Singapore American School, American School of Bangkok, Taipei American School and The American School in Japan らが参加。予選リーグを行ってから決勝トーナメント (Single elimination tournament) を行い、優勝を争う。

※日本ではトーナメントという一発勝負のトーナメントを差す。アメリカでは、敗者にも再び勝ち進めばチャンスのある Doublet とトリプルの区別の為に名称を付与する。

さらに、ST Mary's の主催大会として 12 月頃に SAVA CUP を実施。これは、かつて同校を熱意のある指導で牽引した故人を偲ぶ大会である。多くの選手に対して素晴らしいコーチングをして同校バスケット部の飛躍を導いたが、若くして病魔に襲われて他界してしまったコーチ Sava 氏をを偲ぶ大会であり、今年で 6 回目を数える。昨年は日本体育大学の下級生チーム、早稲田大学下級生チーム、自由が丘学園高校バスケット部、Saints Basketball Club (高校世代のクラブチーム、横田基地を拠点とする)、Kubasaki High school が参加した。今年も 12/18、19 に開催予定であり、日本人チームからは埼玉県立春日部高校バスケットボール部 (IH 出場 6 回、埼玉県の伝統校) などが参加する予定である。

日本の部活動に比べて非常に短い活動期間であるが、関東地区のリーグ戦、香港での歴史のあるトーナメント、Far East Champion や自主開催の Sava Cup など非常に中身の濃いスケジュールが組まれている。

■Varstiy と Junior varsity での活動形式

また、選手の競技レベルに応じて 1 軍 (Varstiy) と 2 軍 (Junior varsity) に振り分けられ、それぞれ活動をするのも特徴の一つ。それぞれ 10 人-14 人と人数制限を設け、ST Mary's の場合、各チームに HC が存在し、それぞれに考え抜かれた練習プログラムとコーチの目の行き届きやすい練習環境が確保されている。

この仕組みではメリットもデメリットもあるのが事実。トライアウトで力が及ばなかった選手は入部できないという側面があり、諸外国、特にアメリカの場合は入部が出来なかったが、バスケットボールに燃える選手はストリートバスケットボールや部活動以外のピックアップゲームなどで腕を磨き、また翌年に挑戦をするというサイクルが存在し、競争社会を支える下地があるが、部活動以外に競技環境を得ることが非常に難しい日本では裾野の拡大と言う意味では難しい側面もある。

その反面、実力を認められてチームに入部できた場合は、一人一人に目の行き届いた指導を受ける事が出来、練習でも必要以上に待ち時間などを発生する事が無く効率的に練習に励め、競技力を向上させる事が出来るメリットもある。Varsity,JV とともにチーム内でのプレイングタイムを争う競争こそあれ、10~14 人の間で争うわけなので、練習の中ではスタメン級の選手とも実戦形式で争う機会も必然的に増え、チーム内の練習で様々な経験を積める。

同時に、バスケットボール部の選手であるためには、「Academic first」「勉強第一」である事が学校の方針として求められる。授業の出欠状況やテストの成績が芳しくなければ、スクールカウンセラーによる面談の対象となり、改善が見られない、必要とされる成果を挙げられない場合はスポーツ活動を制限される。そうする事で、ともしればスポーツに熱中するあまり、学業が疎かになってしまう生徒を少なくすることが目的。スポーツの技能に優れているからといって、学業の待遇を免除するという事はせず、学業優先の方針を貫く中で、バスケットボールに情熱を燃やす生徒には高いレベルでの両立を求めている。

※あくまでも当学校の方針です。

■シーズンオフでも、選手に充実した活動(日本人選手も募集！)

また、シーズンオフの期間ではあるが、ここ数年、Junior Varsityコーチである Kris 氏によって米国の著名なコーチを招いたキャンプが開催されている。講師は Dave Taylor というコーチであり、同コーチは、Phenom キャンプや、台湾、香港、オランダなどでもバスケットボールキャンプを具体的な計画として考案している実績のあるコーチだ。

日本人、アメリカ人などの国籍を問わず、アメリカと同じようなバスケットボールの指導環境を選択肢の一つとして創出したい事が目的の一つでもある。

初年度は 10 歳から 18 歳まで(競技レベルや年齢に応じて何パターンかのクリニックが用意されている)約 80 名、、昨年は同様の年齢層で 100 名以上の選手が参加をした。主な参加層はインターナショナルスクール、米軍基地内にある学校の生徒を中心としており、同所属で、関西や沖縄からの参加者も多い。

本取り組みは、インターナショナルスクールの選手だけではなく日本の選手にも参加権利が開かれた試みである。日本の部活動でプレーする選手、インターナショナルスクールの生徒にとって、アメリカと同じようなバスケットボールの指導環境を選択肢の一つとして創出したい事が目的の一つでもある。

事実、決して数は多くはないが、前述のキャンプには日本の中・高校の部活動所属中の選手も参加者に数名はいたという。

近年、ジョーンワシントン大学で活躍する渡邊雄太選手や、米国強豪大学への入学試験受験が報道された八村選手などのように、もし、(これまで情報が無かったり機会が無いなどで) 米国での競技や進学を考える進路も啓蒙する事も目的としている。

また、このクリニックにはもう一つのストーリーがある。シーズン制の活用を採用している為、春先や夏場に競技やチームとして活動する場所に乏しい事情を解消するため、Kris コーチによって Tokyo Samura というクラブチームが主催されている。

夏場には、カリフォルニア州のアナハイムで開催される the Double Pump Best of Summer Tournament や、Dave Taylor 氏が運営に関わる各種の大会に参戦。NCAA のスカウトやコーチが集まる中で競技をする機会を設けている。前述のとおり、St Mary's の選手は東アジア地区を中心に様々な大会で実戦経験を積めるものの、そのようなインターナショナルスクール間での試合だけでは、なかなかスカウトの目に触れる機会も少ないようだ。意欲と能力のある選手がいたとしてもせっかくの機会を逸してしまわないよう、Kris コーチや父兄有志の運営によって環境作りが実施されている。

(スカウトが興味を持った際、いつでも必要な映像を提供できるようシーズン中の全ての試合ビデオは録画をし、大学進学後も部活動でバスケットボールを続けたい選手には必要資料とすべく映像資料の準備にも余念がない)

昨夏は 15 歳以下、17 歳以下の 2 チームでエントリーし、17 歳以下のチームは予選リーグを全勝で突破。残念ながら次のラウンドで敗退してしまったが、大勢のスカウトが見守る中、本国で貴重な実践経験を積んだ。

この大会に向け、夏場には週に 1 度、Tokyo Samura チームとして練習が行われ、個人技のブラッシュアップとチーム力の向上へと勤めている。2015 年には、様々な縁が重なり、FIBA アジア選手権を戦う U-16 日本代表チームとも練習試合を行うなど、徐々に国内でも認知度が高まってきている段階であるという。今後、日本の高体連の部活動に所属する選手でも、本人の希望、顧問の先生、両親の許可があれば、同チームへの練習参加や、海外での大会に参戦をする道筋を作りたいという構想も持っているという。

シーズン中の活動、シーズンオフの熱心な活動の積み重ねが実り、現在、NCAA DIV3 の大学部のバスケットボール部には同校出身の選手がロスターとして名を連ねており、在学生であるシェーファー アヴィ幸樹選手は平成 27 年度の U-18 トップエンデバー合宿へと召集される機会を得た。

about Tokyo Samurai

We've run a spring camp at St Mary's for the past 2 years with Coach Dave Taylor. The first year we had about 80 students age 10-18 and last year we had just over 100. We will be holding another camp this March at St Mary's.

Almost all the students we have are from international schools or military bases but we do get a few students from Japanese middle school or high schools. We get students that come up from Kansai for the camp as well as Okinawa.

We run the camps to give students more opportunities to be coached like they would in the US. We'd like to have more Japanese join our camps and be involved. Coach Taylor runs one of the biggest youth camps in the US called Phenom which has had many NBA and College players attend as middle and high school students. Recently he has been doing or planning in the future Nike Elite camps in Taiwan, Hong Kong and will do another elite event in the Netherlands.

We also use the camp as a way to select players that we take to the US as part of the Tokyo Samurai to play in a tournament in front of 200-300 college coaches. Most international students that can play at a high level, aspire to play in college but because they live in Japan it is much more difficult for them. Recently with the success of Yuta Watanabe at George Washington and now the signing of Rui Hachimura to Gonzaga, we want to inspire other Japanese players that they can play abroad.

The Tokyo Samurai team started the same year we started the camp in 2014. It was created just to play in the summer

tournaments in the States. For college recruiting, these are the biggest events of the year. For three weeks in

July, there are tournaments all over the US that are certified by the NCAA and college coaches come to watch high

school players. Coach Taylor runs two of these tournaments and we attend the Double Pump Best of Summer Tournament

in Anaheim, CA. Last year there were about 250 teams (15U, 16U, 17U) at this tournament and we brought two teams.

Our 15U team had players 11-15 years old playing for us. On our 17U, we had players 15-18 years old. In this tournament

our 17U played very well going 4-0 in pool play, winning our first round game but then losing in the next round.

In preparation for this tournament, in the spring we practice usually once a week and play games in Japan. Usually it

is difficult for us to find teams that are competitive with us, so we will often play teams made up of college aged players.

This coming spring we will try to schedule games against larger Japanese high schools for more competition. Usually we

don't play in the fall but this year we gathered to play the U16 National Team. We weren't able to practice before these

games but we made sure to give a good effort

Kris